

最先端の印刷機と熟練の職人の技術力で 全国の5,000社にパッケージ印刷物を提供

全国の食品、医薬品、化粧品、和・洋菓子、ティッシュペーパーなどのパッケージ印刷を主力としている印刷紙器の総合メーカーである。一方では全国的に広く流通しているオロナミンCのラベルのデザイン提案が採用され紙の開発から印刷まで手掛け大塚製薬グループと強固な取引関係を築きあげている。また、小口の多様なニーズにも対応できるように最先端の設備投資も積極的に行い、技術力が高く評価されている。

所在地 香川県丸亀市飯山町西坂元1100
電話/FAX 0877-98-5111 / 0877-98-2726
URL <http://www.sanuki-print.jp>
代表者 代表取締役会長 鈴木 英明

設立 1949年
資本金 6,500万円
従業員数 226名



最先端設備と職人の融合

先端技術の面では、ニューメタルカラープリントシステムを導入実用化してきた。これは、従来の方式では実現が不可能なメタリック効果や疑似エンボス加工を実現。このシステムはさまざまな熟練された職人との融合が不可欠であり、多様に組み合わせた高級感を売りにしたパッケージも開発した。付加価値を高めるこのシステムは徐々に用途も広まり伸びている市場でもあり大きな可能性が期待される。また、このシステムを駆使し自社独自のカレンダーを作成、全国カレンダー展にも出展し賞を受賞する等高い評価を受けている。



ニューメタルカラープリントシステム

環境への取組

環境対策にも力を入れており、ゴミの削減、再使用、再資源化の3Rを強く打ち出している。そのなかでも環境負荷に最も効果が高いのが発生を抑制することとしてロスの削減、予備紙の削減、残業時間の削減などを実施してきた。また、小売、小売り流通関連も環境配慮の面から要求事項になってきており企業のCSRを含めて植物由来インキの使用や「持続可能性に配慮した紙の調達基準」をクリアした印刷紙の使用などに取り組んでいる。



環境に配慮した最先端印刷機

高い提案力で取引基盤を拡充

「クライアントに信頼される仕事をする」をテーマに新設備や新技術を積極的に取り入れ顧客のさまざまなニーズにスピーディかつ柔軟に対応できる体制を構築している。近年の機械は自動化の方向に改良されており必ずしも腕力が必要とされなくなり、女性オペレーターの育成にも力を入れ女性の能力開発や女性目線での提案ができる体制を強化し違った角度からも見ることでさまざまな顧客との基盤を拡充させている。



多種多様な商品